



陽ざしが増え、感じる日も増えてきて、春が来た!! という感じになってきましたね。  
新年度がはじまり、病児保育室も新たな気持ちでがんばり、していきたいと思っ  
ます。

さて、季節の変わり目は、アレルギ-など咳、鼻水が多々子どもにもあつた  
と思います。そこで今日は、咳、鼻水についてお話していきます。

また1月号でもお知らせしました、病児保育室を利用できる感染症について  
再度お知らせしていきます。新年度がはじまり、保育園、幼稚園、学校などで  
感染症の登園(校)基準のお知らせをもらたしたいと思います。その基準と照らし  
合わせ、ご利用下さい。



## 鼻水のおはなし

### 咳をしている時は...



咳は体質的なものや、治療が必要となるもの、気管に異物が詰まった時など、様々な原因があります。咳の種類や熱、嘔吐など他の症状も出ていないかをよく観察し、対応しましょう。

季節の変わり目やアレルギ-などにより、子どもは鼻水が出やすくなります。鼻水の他に、発熱、喉の痛み、食欲不振、黄色や緑色の粘り気のある鼻水が続くなどの症状があれば病院で診てもらいましょう。

### どうして鼻水が出るの?

鼻水は体を守るために必要なもので、鼻や喉に付いたウイルスを排除するために出るものです。また、炎症を起こした鼻の粘膜を守る役目もあります。

### 小さい子はこまめに吸い取って!



まだじょうずに鼻をかめない子は、ティッシュでこまめに拭いてあげたり、鼻水吸引器などを使って吸い取ってあげたりしましょう。また、頻繁に鼻水を拭いていると、鼻の下の皮膚が赤くたれてくるので、その場合は炎症を抑える軟膏を塗ってあげましょう。

### 咳がひどい時は...

- 蒸したタオルを顔の前に広げて、湯気を吸わせる。
- 室温は20℃前後に、湿度は50~60%くらいにする。
- 野菜スープや麦茶を少しずつ、回数を多く与える(刺激になるので柑橘系や冷たい物は避けましょう)。
- 睡眠時、クッションなどを使って上半身を高くする。

## 登園(校)目安と病児利用できる疾患

感染症名	登園・登校の目安	病児利用 ○・×
インフルエンザ	発熱した後5日を経過し、かつ解熱した後2日(幼児においては3日)を経過するまで出席停止	○ ※
百日咳	特有な咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌薬による治療が終了するまで出席停止	○
流行性耳下腺炎 (おたふく)	耳下腺などの腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで出席停止	○
風疹(三日ばしか)	発疹が消失するまで出席停止	○
咽頭結膜熱	主な症状が消失して2日経過後	○
流行性角結膜炎	感染のおそれがないと認められた後	○
溶連菌感染症	適切な抗菌薬による治療開始後24時間以降	○
手足口病	発熱がなく普段の食事がとれる	○
ヘルパンギーナ	発熱がなく普段の食事がとれる	○
伝染性紅斑 (りんご病)	全身状態が安定している	○
感染性胃腸炎 (ロタ・ノロなど)	下痢、嘔吐が消失した後	○
マイコプラズマ感染症	発熱や激しい咳が治まった後	○
RSウイルス感染症	呼吸器症状が消失し全身状態がよい	○
伝染性膿痂疹(とびひ)	皮疹が乾燥しているか、患部がおおえる程度のものである	○
麻疹(はしか)	解熱後3日を経過するまで出席停止	×
水痘(水ぼうそう)	すべての発疹が痂皮化するまで出席停止	×

### 先月の病児保育利用数と疾患

利用数 3名

- 疾患
- インフルエンザ
  - 上気道炎
  - 結膜炎

